

公開シンポジウム

特別講演(岩槻邦男東京大学名誉教授) 演題「**マングローブ・熱帯・植物**」

岩槻邦男先生の紹介(邑田仁 2010. 東京大学理学部ニュース vol.41(5)より引用)

岩槻先生は兵庫県生まれ、京都大学理学部のご出身で、京都大学理学部教授から、1981年に東京大学理学部附属植物園教授となられ研究・教育に尽力されるとともに、東京大学評議員を2年、附属植物園園長を5期10年わたり勤められました。本学を定年退官されて後は立教大学、放送大学で活躍され、現在は兵庫県立人と自然の博物館の館長を務めておられます。1994年には「植物の多様性の解析およびその滅失に関する保全生物学的研究」により学士院エジンバラ公賞を受賞。2007年には文化功労者として顕彰されています。

岩槻先生はシダ植物の系統と分類に関する研究、東アジア・東南アジア植物相の研究、維管束植物の分子系統学的研究、植物多様性の保全に関する研究などで顕著な業績を収め、他方、日本学術会議委員、国際生物科学連合日本代表、(社)日本植物学会会長、日本植物分類学会会長、(社)日本植物園協会会長、国際植物園連合会長、学術審議会専門委員、環境保全審議会委員など国内外の組織の要職を歴任し、広く社会に対して植物への理解を深める教育・施策に貢献されました。さらに、数多くの普及書・専門書を執筆し、生物多様性の保全・地球環境問題について啓蒙活動を続けておられます。